

## 令和7年度 信学会小諸野岸幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども  
 (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども (4) 自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

### 2. 本年度の重点目標

あそび・・・やってみよう！みんながあそびマスター                      しぜん・・・どうして？なんで？だいはっけん  
 お話の日・・・見て、聞いて、伝えよう                                      あいさつ・・・おはよう、さよなら、ありがとう！

### 3. 自己評価

A・・・十分達成されている

B・・・達成されている

C・・・取り組んでいるが、成果が十分でない    D・・・取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・子どもたちが幼稚園を楽しみにしている姿、また先生たちが子どもとしっかり向き合ってくれている姿などから安心して通わせられる幼稚園だと感じている。園全体で子どもたちを見てくれる雰囲気がとても良く、保護者アンケートからも先生方への信頼が高いことが感じられる。

・行事が大きく変わった年だったが、保護者の意見をしっかりと受け止めながら、子どもたちの主体性を大切に子どもが達成感や充実感を感じられるような行事を作ってほしい。

・子どもの数が減ってきているので園児募集も大変だと思うが、まず幼稚園名を知ってもらうためにポスターやチラシ、幼稚園バスなどを有効に使って知ってもらうことが必要である。

・安全に配慮しながらも、ぜひ子どもたちが考え取り組む体験活動を充実させてほしい。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・園の目標や行事については年度末に見返しを行い、より子どもたちの実態に合ったものを設定したいと考えている。職員が同じ方向を向いて保育ができるように、またどの子にも居場所があり子どもたちが安心して過ごせる幼稚園をめざして職員が力を合わせ取りくんでいきたい。

・幼稚園における環境は子どもたちに大きな影響を与える。本年度は環境づくりを重点にして取り組んできたが、引き続き子どもたちが主体的に学べる環境になるよう工夫していく。安全に十分配慮しながらいろいろな体験ができるように、行事や活動・園外保育等を工夫していく。

・園児募集については保護者の皆様や地域の皆様の力をお借りしながら、園を知っていただく工夫や呼びかけをしていく。引き続き HP を使って園公開やのぎともパークについて知らせていく。